

第3回みんなのタウンミーティング会議報告（令和4年度第3回）

- 1 開催日時 令和5年3月19日（日） 午後2時～3時30分
- 2 開催場所 市民会館・萌え木ホール
- 3 参加者 市長及び市民19名
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ（市政報告）
 - (3) 懇談（フリーテーマ）
 - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市からの回答等
1	子ども・子育て応援事業について	<p>子ども・子育て応援事業でクオカードペイが18歳未満対象で届いたが、「子どもの学用品の購入にお使いください」というような文言がHP上にあるにもかかわらず、実際に使えるお店の候補の中に子どもの文房具や学用品などが買えるお店が含まれていない。目的と手段がかみ合っていないのかなと感じる。クオカードペイを選択した理由が知りたい。</p>	<p>この事業は、物価高騰に対する国からの臨時交付金を活用した事業である。私が就任して、子育て世帯に物価高騰対策をやらうと決めて、そこから動き出した。まず対象者をしっかり絞り込んで、それを御案内し、申請していただいて、そこから現金給付をするという流れになるが、12月から検討を始めた段階であり、その時に、国からの臨時特別交付金というのは、3月末までに全ての清算が終わらないと交付金として活用ができないということが分かった。3月末までに全て精算を終えるというのは、現金をお配りするというのスキームでいくと間に合わないという判断になる。</p> <p>どういスキームでどうい事業ができるかというのを検討したときに、電子クーポンをお配りする、そこからダウンロードしていただいて使ってくださいとやるのであれば、3月末までにちゃんと間に合う、物価高騰対策として子育て世帯への応援としてできるということになった。</p> <p>学用品と言いながら、なかなかそれが使える店舗が少ないというのは、実は御指摘のとおりである。そこは判断に悩んだところではあった。実際クオカードペイでやった場合に、ももとの趣旨と若干ずれているところがあるというのは、実は我々も分かっていた。ただ、逆に言うと、家計のお金のやりくりの中でうまく使っていただければいいという考え方もあり、若干心苦しいところはあるが、そういった意図でいろいろな事業のスキーム、交付金の期限という中でこの事業をやるのがまだベターなんじゃないかという判断でやらせていただいたという状況である。</p>
		<p>こういった金券・商品券が利用されなかった場合、差額というのは委託事業者から市に返還されるものなのかどうか知りたい。</p>	<p>細かいところまでは今お答えできないが、基本的にはクオカードペイ自体、ちゃんとダウンロードさえしていただければ期限が十分にあったと思うので、それ自体は返還の対象にはならない。したがって、まずダウンロードしていただかないといけない、ということにはなると思う。いつまでというのは、確認させていただきたい。</p> <p>【後日回答】 残金については、QUOカードPayで設定できる最大期間となる3年間に設定させていただいている。有効期限内に使用しなかった残金については、無効となるので、有効期限内での御使用をお願いしたい。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市からの回答等
2	学童保育の定員超過について	<p>今の学童保育所の定数に対して、4月に入所してくる児童数が、ざくばらんに見ると150%ぐらいである。150という数字は、お盆の時期の新幹線の混み具合ぐらいの感じで、子どもたちがその状況で実際放課後の生活ができるかなという心配しかない。早急に何とか手を打たなければいけない状況ではあるが、どうも行政のほうは後ろ向きであり、これが4月から一体どうなるのかなと心配である。</p> <p>説明では6年度からというお話になっていたが、6年度では遅いかなという危機感でいっぱいである。</p>	<p>学童保育の件は、おっしゃっていただいたとおりで、私も何年前にある所を見に行ったら、そこは児童館併設のところだが、廊下等にはみ出して勉強をしているとか、過ごしているという、そういう状況だった。</p> <p>学童保育所の入所希望者が増えてスペースが足りないという問題については、もう何年も前から、市議会でもずっと問題になってきた。抜本的な対策・緊急短期的な対策と、中長期的にどうしていくんだということと、これはやはり両軸でやらないといけないということは、ずっと言ってきたところではあるが、どちらかというところ、緊急性のあるところを何とかしのぐという対策を毎年繰り返している状況が今である。ですので、今すぐ何ができるということを言える状況ではないが、そういう視点で今担当課と話し合っている。非常に悩ましいところである。</p> <p>根本の原因は、行政は、ひとえには中長期的には計画に基づいて行政執行するというところでありながら、学童保育所の大規模化については、確かに何年も前から言われているものの、そこに対する対策をどうしようかというところを組み立ててこなかったというところが大きかった、というのが反省である。ですので、私もつぶさに市議会議員のときにその状況を見て、何とかできないのかという話はしてきたところではあるが、一つの対応策としては、さっき御紹介いただいたように学校施設をうまく活用できないかということであり、それはもうやらざるを得なかった。ところが、おっしゃっていただいたように、学校自体にもう教室がないということで、特別教室を普通教室にしないといけないという状況である。ですので、今行っていることで言うと、増築・建て替えの段階では学童の施設をちゃんと学校敷地内に併せて検討すべきであり、そういう活用ができる場所をしっかりと整えるということと、それ以外のところで、例えば周辺の立地環境を考えて学童を新たに設置することはできないかとか、いろいろな方策について考えている。まだ整理はできていないが、そういう状況である。あとは、設備・備品については多々御指摘をいただいているので、できることから対応していきたいと思う。</p>
3	廃止された社会福祉協議会（社協）のバスについて	<p>廃止された社協のバスについて、地域のコミュニティーにとってみればとても有意義に使っていた。維持費がかかるということだが、別にバスを維持しなくても助成金を出すと、コミュニティーの活性化に向けて何か少し考えていただければと思う。</p>	<p>社協のバス・みどり号の件については、廃止の話になってからも、ずっと色々なところからお声をいただいている。御意見として承りたい。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市からの回答等
4	C o C oバス再編における市民参加について	<p>C o C oバス再編事業に関して、市長のツイッターで、後から意見が出てきてショックだったという発信があった。C o C oバスの再編自体は、4年前の前市長のときから市民参加を取り入れつつ計画が進められたことは、私もホームページ等を見て分かっていた。市長はショックだったということだが、今の経験等を踏まえた上で、4年前にもし市長の立場で戻られるとしたら、自分ならあの時こういうプロセスを経たとか、具体的に今振り返って変えたいところなどあるのか。また、逆に市民に求めるものは何かあるのか。</p>	<p>状況が分からない方もいるので、背景をまず説明をしたい。C o C oバス再編事業で、一部ルートが変更になったり、運賃も100円から180円になったりしている。こういった状況について、フェイスブックというSNSに、小金井に関する掲示板があるのだが、そこにC o C oバス再編事業の動画のことをお知らせしたところ、今御紹介いただいたように、「何だこの内容は、やり直せ」というようなお声をいただいた。</p> <p>私が市長になったときにはもう決まっていた話ではあるが、市議会議員の時からも見てきたものであり、「4年間かけて審議会をつくって、公共交通会議の中でしっかり議論を重ねて、そして地域懇談会、色々な市民参加、最後にパブコメと、色々な手法を捉えて、市民参加の手法は一応やった上でここまで決めてきた」というような説明もした。だが、なかなかそれについて御理解いただけなかったということで、私としては、市民の立場から見ても必要な市民参加の手法をやりながら作ったものなので、ここに来て「何だこれは、やり直せ」という声が出るということ自体がショックだった、という話を書いた。それを踏まえての御質問である。</p> <p>振り返ってどうだったかと言われると、非常に答えにくいところもある。ただ、C o C oバスだけの話ではないが、「今何をやっているか」とか、「こういう点で皆さんに御意見いただきたい」ということについて、まず広報がなかなかうまく届いていないんじゃないか、というところがスタートだと思う。結局、知らない、当然意見の出しようがない。だから、まずは知っていただくということ。例えば「C o C oバス再編事業をやっていますよ」ということを、できるだけ多くの方に知っていただくためにはどうするか。それがちゃんと知られているかということ把握する目線というのが必要なのかなと思っている。結局こういう話が出てくるというのは、広報のお知らせ、要するに、知らない状況というのをどうやって出来るだけ解消できるかということ。意見を言いたいときに、気軽に意見を言えるやり方・手法があるのかどうか。最初の入り口の部分と、それに対するアクセスの仕方と、そこを何かしら改善する余地というのは、C o C oバスの件だけじゃなく、色々あるんじゃないかなと思う。</p>
5	宇宙の豆知識と広報について	<p>私は宇宙が大好きで、宇宙の豆知識教室というのを、自分がチラシを作って、配れる範囲でやっている。これからの時代の子どもたちや私たちの世代に、宇宙のことを知ってほしいと思っている。市報の隅にでも、宇宙関連の話の初歩から載せてほしい。</p>	<p>色々な分野で熱い思いを持っておられる方は沢山いらっしゃるの、大変申し訳ございませんが、市報に今おっしゃっていただいたことをすぐ載せるということは、判断として難しいなと思っている。</p> <p>ただ、協働事業提案制度という仕組みがある。例えば、私はこういうことができるから、小金井市と一緒に事業をしましょうという提案ができるものである。そういうところで御提案いただくと、それが採択された場合、一つの事業になる。過去にも環境関係で冊子を作って配るということが、一回協働事業として採択されたことがある。市民の皆さんから具体的にそういう制度の中で御提案をいただいて事業化するということは、可能性としてはあるので、そういうものを御提案いただけるといいのかもしれない。担当課のコミュニティ文化課にお問合せいただければと思う。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市からの回答等
6	都市計画道路の中止について	<p>市長は就任以来2つの都市計画道路を中止させると言っている。例えば、生態系の問題がいかに重要かという客観的な資料をほたる村の方が中心となって作っているのだから、例えばこういうものをベースに、小金井市として、環境保全モデル都市宣言のような宣言をして、それを以て東京都にも見ていただき、ぜひ早期に、少なくとも2つの道路については中止されるような措置を取っていただければと思う。</p> <p>その関連で、今神宮の木の伐採問題が非常に大きくなっている。実際問題として、小池知事が承認を与えたので既に事業が始まろうとしているという状況であり、環境保全の問題・緑の保全問題というのは大きな問題になっている。ぜひ市長におかれては、よろしく行動をお願いしたい。</p> <p>(要望のみ)</p> <p>小金井市というのは非常に豊かな自然に恵まれていて、野川公園、武蔵野公園、小金井公園など3つも公園があるところは東京都でも珍しい環境である。武蔵野公園の近くを流れている野川という川は、非常に水がきれいで、蛍が最近復活している。</p> <p>その一方で道路の話になると、東京都の方では今の道路整備の方針について3年前のパブコメで都民約70%が反対しているにも関わらず、それについて知らんぷりである。</p> <p>先ほど出た明治神宮の公園の木の伐採の話もひどい話で、非常に大きな自然を破壊する作業というか、暴挙だと思っている。ぜひ市長にも頑張っていただきたいと思う。</p>	<p>神宮の木について、私はあまり言及できる立場ではないが、冒頭におっしゃっていただいた小金井市の優先整備路線に位置づけられた2本の都市計画道路については、私は、公約でも事業の中止を求めると言うことを言っており、今その準備を進めているところである。なかなか御期待に沿えるスピード感になっていないところは大変申し訳ございませんが、中止を求めると言うことについて私は変わらないので、それだけ申し上げておく。</p>
7	子ども・子育て環境日本一のスローガン及び保育園の欠員補助について	<p>前市長が「子ども・子育て環境日本一」といったスローガンを立てながら進めて来たが、待機児童解消も無理やり感があつたかなと感じている。</p> <p>白井市長として、市が認可している保育所・保育施設について、欠員が出ないような適切な利用調整というもの、要は、利用者さんと保育施設のマッチングをより適切に、可能な限りつなげられるような仕組みをつくっていただきたい。ホームページ上の保育所の探し方はすぐ見づらいものだが、例えば文京区なんかだとスマホで使える保活アプリなんかもあり、工夫されている。そんなにお金をかけなくてもできる支援のつなげ方は、もっと検討できるのかなと感じている。</p> <p>そういったことを通して、幼稚園も含めてだが、全ての保育施設や利用したい方を守るような保育行政を進めていただきたいし、前市長の「子育て環境日本一」という部分について市長として引き継いでいただけるのかをお伺いしたい。</p>	<p>前市長が掲げていた「子育て環境日本一」については、気持ちは非常に分かるが、日本一という定義がよく分からないので、市議会議員のときにはそこを指摘をしていたところである。</p> <p>逆に言うと、「こういう部分で子育て環境として強みを持っていくということ」を掲げた方がいいんじゃないかと思っていたところなので、今、私が就任して「子育て環境日本一」という言葉は一度も使っていない。今後の宿題というか、全世代、市民全員に対してどうやって福祉の向上を図っていくのかというのが命題である。</p> <p>ただ、将来的なことを考えたときに、子どもの置かれている環境は色々あるので、そこをしっかりと取り組むことが大事ということは、これまでの政策としても変わらないところなので、それをどういう目標を持っていくのかということについては、もう少し時間をいただきたい。</p> <p>今、具体的に、保育施設に欠員が出ないような利用調整、もしくは、より良いマッチングの仕組みというお話をいただいた。これについて、今具体的に考えているところはないが、ただ、ずっと課題として私も思っていたのが、果たしてどこまで利用者側が保育施設のことをちゃんと調べられているのか、要するにそういう環境があるのかということである。何でもそうだが、お互いの情報がうまく意思疎通できていない中でマッチングをしてしまうと、結局それはある意味、お互いが不幸になる原因になると思うので、そこをしっかりとマッチングさせる仕組みというのが重要だとは思っている。</p> <p>おっしゃっていただいたように、各施設の状況を、今そんなに分かりやすく提供できているかというと、できていないと私も認識しているので、どういうことができるか考えたいと思う。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市からの回答等
8	保育の質について	<p>のびゆくこどもプランで、将来の小金井市の人口の増減を考えながら計画を立てて保育園増設を進めてきたと思うが、待機児童はほぼ解消されて、逆に今は欠員のほうが目立っているという状況である。</p> <p>保育園を建てるのも税金がかかるし、また、欠員が目立って欠員補助をするためにも税金がかかる。計画の見直しと変革というのがもう少し必要かなという気がする。</p> <p>施政方針に「保育の質の向上」という言葉があったが、市長として、「保育の質」というのは何だとお考えか。</p>	<p>「保育の質」についてだが、小金井市では、保育の質の維持・向上のための「ビジョン」と「ガイドライン」というものを作った。これは、私も市議会議員のときにずっと提案して、行政がやったのだが、そこで具体的な「質そのもの」の定義をしていないところである。ただ、保育で「小金井市として大切にしたいことはこれ」ということは明文化されているものがあり、それは一つ、「保育の質」ということに当たるものだと思う。</p> <p>あと、「保育の質」について、有識者で色々和本も書かれている方による、一般的な保育の質として有名な、「設備環境」と「人」と「構造」の質の定義というのがあり、基本的に、それが一般的には「保育の質」を表す考え方だと私は認識している。要するに、ハード、設備環境、あとは保育士を含めた人的な環境がどうなのかということ。そういうことがしっかり備わっているということが、「保育の質」を維持・向上させるための重要な要素であると考えている。</p> <p>一方で、さっき申し上げたように、そういう色々な情報や考え方もありながら、市としては「こういうことを大切にしていこう」というのを「保育の質」という位置づけにしている。私の認識と、市としての位置づけはそのような状況である。</p>
9	市の防災について	<p>小金井市として災害時とか、防災関連の状況というのは、今どんな感じなのか。予算がどれぐらい振り分けられているのか、その辺りを伺いたい。例えば備蓄関係がどれくらいなのかとか。指定避難場所というところへ行ってみても、これで大丈夫かなというケースが多い。地域にもよると思うが、スピーカーで色々アナウンスされたりしても、何を言っているか分からない状況がずっと続いている。</p> <p>例えばLINEということだが、高齢者にも目を向けないといけないと思う。アナウンスで聞こえないからLINEでという形になると、どれだけの高齢者の方がLINEを使っている環境にあるのか、ということになる。だからアナウンスの方が良いのかなと思っている。</p>	<p>まず備蓄については、例えば期限が切れてまた更新しないといけないものがあつたりするので、毎年それ相応の予算はついている。ただ、十分かと言われると、備蓄倉庫、特に避難所については、場所によってはまだ不足している物なんかも当然あるので、予算の範囲内でバランスを取って配置しているということにはなる。</p> <p>また、防災行政無線で何を言っているかが聞こえないという話であるが、防災行政無線は、何年前かにデジタル化工事をして、しっかり聞こえるようになった部分と、実は聞こえにくくなった部分も地域によってはあるとは聞いている。全市域にどういうふうにくるか検討した上でやったので、もし「ここが届きにくい」ということがあれば、逆に、具体的に教えてもらったほうが良いし、実際、部分的にはそういう声が出ている地域もあるみたいなので、それを検証した上で、必要な措置を取らざるを得ない。</p> <p>災害時には、基本的には防災行政無線を使ってお知らせをするということになるが、多分それだけで、例えば大雨で寒くて窓を閉め切っていると聞こえないこともある。だから、それだけあれば良い訳ではないという話も、実は議会でも指摘をされていたりして、「そういう時にどういう形でお知らせするのか」ということを色々検討したりしている。</p> <p>LINEのお知らせなんかは、スマホにリアルタイムで情報が届くようになる。今も防災メールという形で登録いただければメールでお知らせを流す等あるが、何か一つだけあればいい訳ではないと思う。色々な手段を使ってやらないといけない。防災行政無線については、聞こえにくいところが改善できるかどうか、それ以外の手法で届ける手段がちゃんと十分にできているかどうか、こういうところを色々見て検証しないとけない。</p> <p>LINEはあくまで一つの手段なので、別にそれだけやれば良いとは思っていない。逆に言うと高齢者の人たち、例えば町会の中でどういうことができるのかとか、色々な属性の方々、色々な手段、これを重ね合わせて整理していくものと認識している。</p> <p>高齢者の方に親和性の高いやり方もあるはずである。そういう意味で言うと、逆に若い人たちは地域の情報を得る手段が実はなかったりする。属性、地域性、あとはどういったツールを使うか、これをしっかり重ね合わせてやるものだというふう考えている。できる範囲から取り組んでいきたいと思う。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市からの回答等
10	保育関係の補助金の人件費比率について	<p>「保育の質を高めるために」については、補助金に対する人件費の割合が高ければ高いほど、恐らく質の高い保育をしているはずである。</p> <p>市立保育園を廃園して競争の中に入れてしまうと、保育の質は本当に悪くなっていくと思うので、それを残し、なおかつ、人件費率をオープンにしてホームページでも何でも良いからアクセスできるようにすると、「保育の質」は絶対にある程度は上がると思う。人を増やせる状態ではないだろうが、役所として監視しているということをきっちり示さないと、質はよくなるらないと思う。</p>	<p>先ほどの質問で答えられなかった点で、「保育の質」については大宮勇雄さんという研究者が一般論として出されていて、「プロセスの質」と「条件の質」と「労働環境の質」と、この3つが保育の質を構成する要素であるというふうに私も認識している。</p> <p>今おっしゃっていただいた人件費率は、私も市議会議員のときから調査をして、問題視してきたところであり、委員会の資料で出されていて、一般公開はされるようになった。場合によっては、人件費率が2割台のところもある。公定価格の想定では8割と言われているが、なかなかそうならない状況がつぶさにある。</p> <p>かつて私が調査した結果によると、特に株式会社立の保育園において、人件費率が低いという傾向がある。ただ、一方で見ないといけないのは、特に新しい園ほど若い保育士を取り、採用年数も浅いということがあつたりするので、人件費率が低くなる傾向はある。だから、出ている数字と、実態と、それを重ね合わせて判断していく必要があるんだろうなと認識している。</p> <p>ただ今御指摘されたように、委託費を流用することもできたりするなど、おかしな制度になっている。本来は、保育園の中で保育士人件費などに使うべき補助金であるから、それはそれとして使っていただくのが本当は良い。数字だけを見て良いとか悪いとかというのはなかなか言えないが、一つの指標であることは間違いないと思っており、そういうことも注視しながら、今後全ての民間園に対して、「保育の質」についてしっかり考えていく参考材料にしていきたいと思う。</p>
11	保育園の使用済みおむつの持ち帰りについて	<p>保育園での使用済みおむつの持ち帰りを保護者が行っていることについて、前回市長の方から、ぜひ進めていきたいと思っはいるけれども、時期は約束できないというお返事をいただいた。</p> <p>それに当たって、リサイクルだったり、あとは不燃ごみの処理施設に運ぶ場合、日野と国分寺と小金井の3市の足並みをそろえる必要があるのではないかということだったが、その後、日野市と国分寺市の保育課の方に、それぞれお話を伺ってみたところ、国分寺市は市内の処理施設で公立園のみ市で回収処理を行っていて、日野市の方はこの4月から、認可園や小規模保育など全て、市の方で回収処理を行うことがほぼ決定したということであった。日野市の場合は、3市合同のごみの処分場で焼却処理をするけれども、結局は家庭から回収しているものも同じくそこに運ばれているので、何もごみとしての変化は起きないから、他市との足並みをそろえる必要は特になんじやないかというようなお話をいただいた。その流れで、西多摩地区を除く21の保育課に全部電話して聞いてみたところ、日野市と多摩市と東村山市は令和5年度の4月から行政で処分することになって、国立市も今年の10月から市で処理を行っているということであった。21市の中で、市での処分に対して全く何の補助もしていないのは、東久留米市と東大和市、清瀬市、武蔵村山市と小金井市の5つの市だけである。ぜひ早急に動いていただきたい。</p> <p>この件について市長へのEメールを送らせていただいたが、いつも保育問題協議会で出てくるような文章と同じようなものが届いたので、何か一歩踏み込んだお返事がいただけると嬉しい。</p>	<p>これは私としては検討したいということで、担当課ともこれから話をしていくところだが、周辺の自治体もそういうふうに行っている現状から考えると、小金井市だけやらない訳にはいかないだろうな、ということである。</p> <p>まだ何も調整ができていないので、すぐに返事はできないが、私としては、それはやるべきであると考えている。厚生労働省からも推奨が出されており、それは担当課も分かっているの、もう少しお待ちいただきたい。</p>